



各 位

2022年10月12日

会社名 株式会社 吉野家ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 河村 泰貴
(コード番号 9861 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役 小澤 典裕
(TEL 03-5651-8771)

2023年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年4月13日に公表しました2023年2月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績との差異について

(1) 2023年2月期第2四半期累計連結業績予想と実績値の差異

(2022年3月1日～2022年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 82,800	百万円 1,300	百万円 3,400	百万円 3,400	円 銭 52.58
今回実績値 (B)	81,811	1,062	4,760	4,695	72.61
増減額 (B-A)	△988	△237	1,360	1,295	
増減率 (%)	△1.2	△18.3	40.0	38.1	
(参考) 前期第2四半期 (累計)実績 (2022年2月期第2四半期)	74,279	723	4,919	3,127	48.38

(2) 差異の理由

まん延防止等重点措置の延長や新型コロナウイルス感染症の再拡大「第7波」など、人流が弱含むことによる来客数への影響や従業員の感染による店舗の営業時間変更・一時休業の発生などにより売上高が当初予想を下回ったため、営業利益も当初予想を下回る結果となりました。一方、新型コロナウイルス感染症に係る感染拡大防止協力金等の収入を合理的に算出し業績予想に織り込んでいましたが、営業時間短縮期間の延長や助成金対象店舗の拡大などにより、当第2四半期累計期間における当初見込みを上回る総額34億14百万円を営業外収益に計上したため、経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初予想を上回りました。

経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は当初予想を大きく上回りましたが、牛肉などの原材料の高騰、光熱費などの上昇に加え、地政学上のリスク、円安の進行など先行きが極めて不透明な状況が続いているため、当第2四半期累計期間においては通期業績予想の修正は行いませんが、通期業績予想を修正する必要があると判断した場合には、開示基準に従い速やかに開示します。

なお、新型コロナウイルス感染症再拡大による大規模な行動制限などのダウンサイドリスクは織り込んでおりません。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上